

古代モンゴル 岩画 1万年の世界

がんが

漢字のルーツと原初の美を求めて



渦状大角羊図 (ヨコ75×タテ130cm)

渦巻き状の大きな角が強調された羊は、さしずめオオツノヒツジの名にふさわしい。「叩打法(こうだほう)」という硬い石を用いて点描的に叩きながら極めて丁寧に描いている。大きさといい、緻密な芸術的表現はモンゴル・アルタイ地域において第一級の岩画作品と言える。

制作年代は不確定だが「叩打法」の彫りは浅く、金属器使用以前の少なくとも5000年前以上の制作だと推測される。

彫られている動物は、渦巻き状の角の様相から家畜化されたヒツジの原種であるムフロンにも似ているが、むしろアルタイ山脈の高地に棲息するアイベックスの角を強調し、神格化した一種の偶像崇拜的な表現かと考えられる。角の先端が玉状になっているのも神格表現だと考えられる。

めったに人の目に触れることのない高地のアイベックスのような動物は中国では「玲瓏」と呼ばれ、奥深い真実を意味する禅語ともなった。



〈モンゴル・アルタイ山脈の標高2500m付近〉

氷河が削った谷を見下ろす絶景ポイントの岩のテラス上に、数多くの岩画が刻まれている。

2022年

2023年

11月13日(日)~4月18日(火)

午前9時半~午後5時(但し入館は4時半まで)



日本・モンゴル民族博物館

休館日/水曜日(但し祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/28~1/4)

入館料/一般 500円・高大生 300円・小中生 250円

※身体障がい者手帳等をお持ちの方は半額 ※県内の小中学生はココロカード提示で無料

後援: 朝日新聞社豊岡支局・神戸新聞社・産経新聞社神戸総局・毎日新聞豊岡支局・読売新聞豊岡支局・新日本海新聞社・一般財団法人 兵庫県学校厚生会・FM ジャングル 76.4MHz・但東シルクロード観光協会
協力: 岡本光平(岩画拓本)、遠藤浩明(写真)、杉田聡(写真)

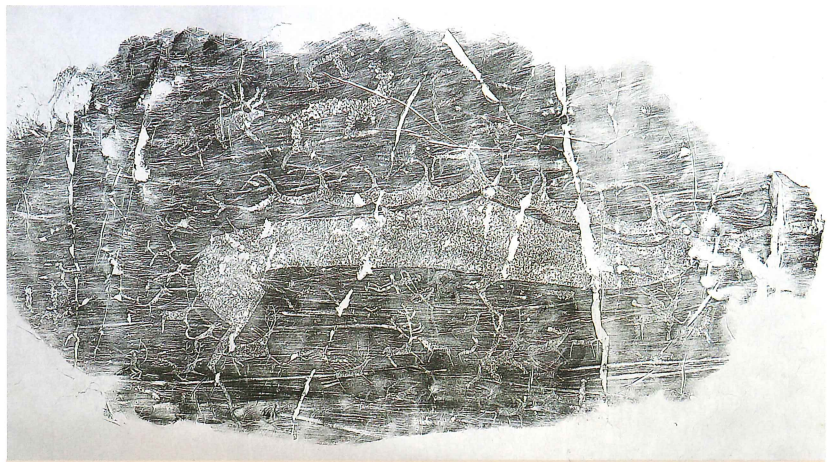
古代モンゴル 岩画 1万年の世界

モンゴル西部のアルタイ山脈や南部のゴビ砂漠には、1万年以上前から人類が岩石に刻んだ「岩画」が多数存在しており、世界文化遺産にも登録されています。

その中には、馬・羊・鹿など草原に暮らす動物や、それらの狩猟の様子、祈祷や子どもの誕生のシーンなどの表現があり、漢字の原形である甲骨文字の元になったと思われる岩画も確認されています。

漢字のルーツを求めてモンゴル・内モンゴル・ロシアなど各地を調査してきた岡本光平氏の協力により、岩画の拓本18点に調査時の写真を交え、その魅力を紹介します。中には、世界初公開となる「神の鹿」と呼ばれる岩画もあり、その迫力を間近にご覧いただけます。

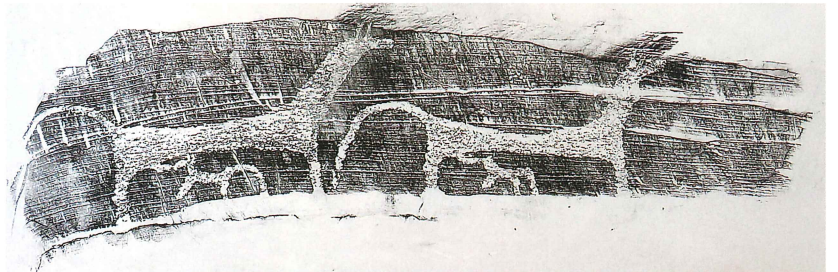
古代の人びとの世界観や自然に対する想いを見つめるきっかけになれば幸いです。



神の鹿図 (ヨコ170×タテ85cm)

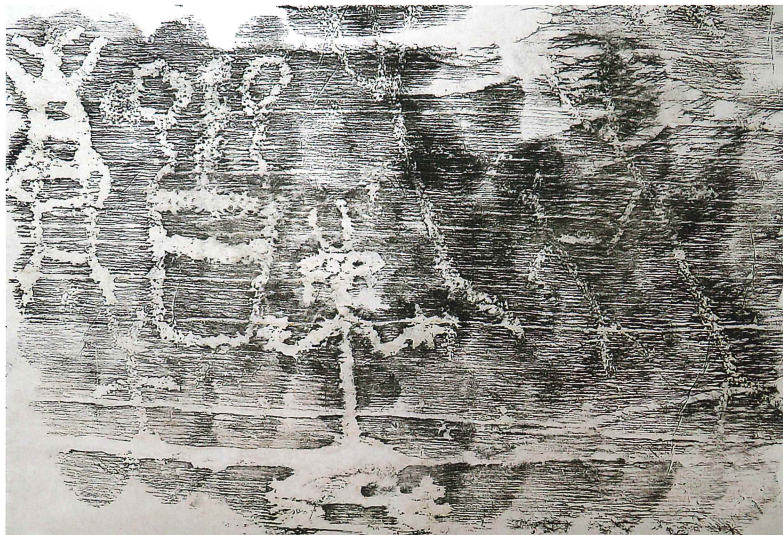
アルタイ山脈の標高2500mあたりの氷河が削った独立した台地上の断崖から下を見下ろす位置にあり、第一級の芸術的表現の岩画として「神の鹿」と呼ばれている。制作年代は2500年前頃とされ、同様な表現は他の石柱岩画にも散見される。

唐草模様のように強調された伸びる角は霊的なシンボルであり、鳥かワニのように異様に長くちばしも想像上の神獣として神格化されている。周囲には鹿と狩人の狩猟の様相がたくさん彫られていることから、豊穡への祈りのシンボルとして崇められていたと考えられる。



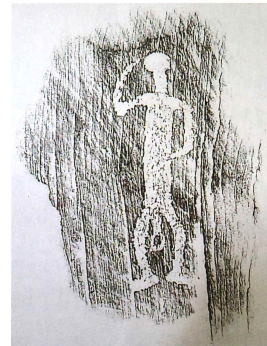
母子馬図 (ヨコ97×タテ26cm)

下の「誕生図」と同じゴビ地域のマウンド遺跡で新発見となった岩画。子馬が母馬から授乳している微笑ましいシーンは、生命の健やかな生育祈願を意味していると思われる。ちなみに野生馬を人間が飼育するようになったのは約3000年前頃からである。



羽盾祈祷図 (ヨコ75×タテ53cm)

右の図と同じくゴビ地域で新発見となった祭祀遺跡のマウンドの中腹あたりに彫られている。極めて貴重な世界初公開となる狩猟の豊穡を祈祷する岩画。画面いちばん左に有角のシャーマン、その右に羽飾りのついた盾があり、さらに右側には数体の人物像がかすかに認識できる。羽飾りの盾は、「祈」の漢字の原初形として甲骨文字に見られることから、岩画が漢字のルーツであるという有力な証例に成り得る貴重な新発見となった。



誕生図 (ヨコ24×タテ31cm)

2017年にゴビ地域で新発見となった祭祀遺跡と思われる、小高いマウンド状の丘陵上の一枚岩の側面に彫られた世にも珍しい出産シーンの岩画。およそ7~8000年前の制作か。遺跡全体に生命誕生や豊穡を意味する岩画が数多く存在する。

関連イベント

【ギャラリートーク】

『岩画』の魅力と漢字のルーツを求めて

日時: 2022年11月27日(日) 14:30~17:00
2023年 3月12日(日) 14:30~17:00

講師: 岡本光平氏(現代書家、岩画拓本提供者)

定員: 各回30人(事前申込みが必要)

場所: 展示会場(入館料が必要)



日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711 TEL.0796-56-1000 / FAX.0796-56-1022

http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/ monpaku@city.toyooka.lg.jp

*新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のためイベントが中止となる場合がございます。イベント内容につきましては当館HPをご確認ください。



参加事業



みらい応援
対象事業